



## ある生徒との出会い

3学年主任 大林 登志美

20年程前、富山聴覚総合支援学校に3年間勤務していたことがある。この間の出来事は、教職を続けていく上での指針となっている。

この学校には、3歳～20歳までの聴覚に障害がある子どもたちが通っていた。障害に対する知識が全くない私であったが、赴任して中学2年生の女の子の担任することになった。彼女は、幼い時にかかった病気の後遺症で聴覚に障害が出た。わずかな聴力が残っていたので、始めは一般の小学校に通っていたが、授業についていけないことやいじめもあって転校し、この学校に通っていた。彼女とはゆっくり話せば、授業も普段の会話も十分可能であった。

彼女との間には、今でも忘れられない出来事がある。夏休みの登校日のこと、どれだけ待っても登校してこない彼女に、何かあったのだろうか心配しながら、彼女が歩いてくるだろう駅の方を眺めていた。そのうち、彼女は高等部の先輩と楽しそうに話をしながら、部活動が始まる時間帯に現れた。その姿を見た私は、「今、何か分かるとるが！」と3階の窓から大声で怒鳴った。彼女にどれだけの声が届いているかは分からなかったが、すごい剣幕で怒っていることは感じたらしく、慌てて教室にやってきた。「今日、何の日か分かっているでしょ。」彼女は平然と「聞いていなかった。」と答えた。私は夏休みに入る前、登校日を確認し、彼女も理解していた。都合が悪いことは「聞こえていなかった」とそれまでもに誤魔化すことがあったので、障害を理由に使うのかと思うととても情けなく、私は、悔しくて仕方がなかった。人間関係が壊れてしまうかもしれないと怖かったが、私は、彼女がついた嘘を許すことができず厳しく叱った。

そんなつまらないことを言わなくていいように障害を受け入れ、生きていく力をつけなければと思い、私にできることは何かを考えた。私はこの日を境に、たくさん会話をし、言葉を伝え、今、世の中で何が起きているのか目を向けさせた。彼女は、不思議と多くのことを吸収していった。3年生になっても毎日たくさん会話をし、彼女からも多くのことを教えてもらった。

勤務校が変わり、それから数年後、彼女から就職が決まったという手紙が届いた。彼女の夢は介護士になることで、その夢が叶ったというのだ。しかし、それまでにはかなり辛い思いをしたことが書かれていた。採用試験を受けに行ったが「あなたは、障害があるので採用することはできない。」と何度も断られたこと、その度に何で自分は障害があるんだと悔し涙を流したこと。「正式ではないが、働く様子を見て採用しましょう。」とようやく内定をもらい、これから頑張っていくという内容であった。その手紙を読みながら、なかなか採用をされなかった彼女の胸の内を考えると苦しくて涙が出てきた。

今年、年賀状が届いた。現在東京に住んでいて、引っ越しの準備をしていたら中学生の頃の写真が出てきて、懐かしくなり葉書を出したのだという。年賀状の裏には昔と変わらない笑顔いっぱい彼女が、幼い子どもを抱いている写真が印刷されていた。

## 2月の行事予定

2月 6日(木) 市英単語コンテスト	19日(水) ~ テスト週間、部活動停止(～27日)
7日(金) 進級説明会	21日(金) 教室床磨き
11日(火) 建国記念の日	23日(日) 天皇誕生日
13日(木) 特別支援学級 卒業生を送る会	26日(水) 期末考査(理、社、技家)
14日(金) 授業参観	27日(木) 期末考査(数、英)
	28日(金) 期末考査(国、音体)、部活動再開

## 「動物園クイズ」の感想

グループエンカウンターを行いました。動物園に行った子どもが4人います。それぞれが動物を見た順番について書かれた紙を1人に1人ずつ渡し、「3番目にカバを見たのは何人いるか」という問題に班で取り組みました。

情報が書かれている紙を見せてはいけない。表を作ってはいけない。などいろいろなルールの下、班員と協力して試行錯誤を繰り返し、全員が答えにたどり着くことができました。

聞いたことから可能性を消していくと頭がパンクしそうになりました。でも、考えて解けたときとても楽しかったです。少ない情報からひらめいたときがとても嬉しかったです。

班の人たちが一生懸命に考えてくれたので、なんとか解くことができました。口頭だけで考えるのはとても難しいと感じました。

まとまってきても表を書かないと忘れそうになりました。自分の覚えていないことを友だちが覚えていて助かりました。

1人でやるよりも、班の人たちと協力してやったから早く解けたと思います。口頭で伝えるのはとても難しく、表を使えないのは不便でしたが、こういった説明する能力を身に付けたいと思いました。

口頭だけで伝えるのが難しかったです。何回も相手に聞き直しました。自分の意見を伝えても、相手は違う意見で考え方は人それぞれだと思いました。

口頭だけで伝えるにはとても大変だと思いました。口頭だけでは相手に伝えたいことがすべて伝えることができなったり、勘違いしたりするので、言葉は人を傷つけることもあると思いました。

情報をまとめるのが難しかったです。メモしても忘れてしまうことがあり、同じことを何度も言ってしまいました。上手く伝えることができず答えが出せたので良かったです。

普段はラインなどを使って簡単に伝えることができるけど、口頭だけで伝えようとすると、どう伝えればいいのか分からなくなりました。答えが出たときは達成感を感じました。



1月22日（水）の給食の時間に栄養士の石戸さんから「減塩」についての話を聞きました。富山県は食塩摂取量が全国的にも高いということに驚き、給食を食べながらも真剣に話を聞いていました。

にぼしや鰹節などの出汁を使うことで、味噌や醤油が少なくても美味しくなると聞きました。ぜひ、ご家庭でも作ってみてください。

食塩の取り過ぎによる高血圧と、動脈硬化について！

